

第 17 節 電波障害

17-1 調査

1. 調査項目及び調査地点等

調査項目及び調査地点等を表 4-17-1、2 及び図 4-17-1 に示す。

表 4-17-1 現地調査内容（その他の環境要素）

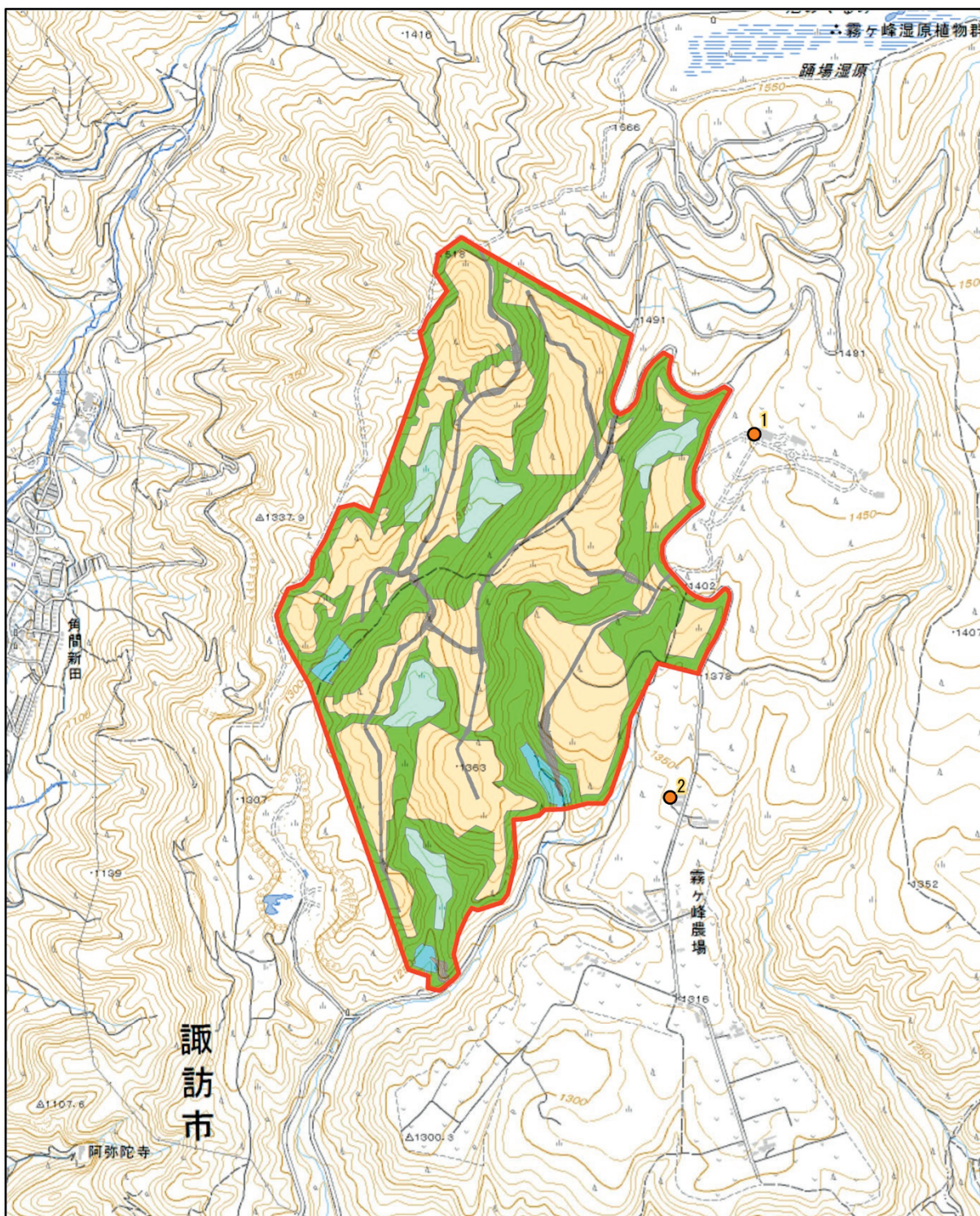
環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期等	調査地点数
電波障害	周辺住居等の存在	現地踏査	1 回	計画地周辺

表 4-17-2 現地調査地域の選定理由

環境要素	地点名	調査項目	設定根拠
電波障害	諏訪市四賀	周辺住居等の存在	事業実施区域の近傍の集落であり、事業による影響を確認するため調査地域として選定した。

2. 調査結果

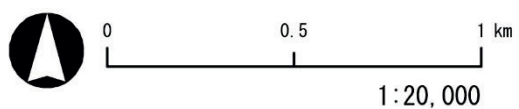
対象事業実施区域周辺は、計画地の東側に創価学会長野県青年研修道場、霧ヶ峰農場とその住居が存在している。なお、計画地の南側及び西側には保全対象と考えられる施設、民家等は存在していない。



凡 例

- 対象事業実施区域
- 直近民家

図 4-17-1
周辺状況調査（PCS の稼働に伴う電波障害）



17-2 予測及び評価の結果

1. 供用時における PCS の稼働に伴う電波障害への影響

1) 予測結果

電波障害の予測結果を表 4-17-3 に示す。

類似施設と AM ラジオ中継塔の距離から推測した諏訪市四賀周辺での AM ラジオの電界強度は 75~85dB μ V/m である。この数値と PCS から発生する電界強度を比較すると諏訪市四賀での推測電界強度の方が強いと思われるため、AM ラジオ放送の受信には影響がないと予測する。

表 4-17-3 予測地点の将来交通量（断面交通量）

予測地域	放送局	推測した最低電界強度	PCS からの電界強度	予測結果
創価学会 長野県青年研修 道場	信越放送	75 以上	52	影響なし
	NHK 長野 第 2 放送	85 以上		影響なし
	NHK 長野 第 1 放送	85 以上		影響なし
諏訪市四賀 (霧ヶ峰農場)	信越放送	75 以上	53	影響なし
	NHK 長野 第 2 放送	85 以上		影響なし
	NHK 長野 第 1 放送	85 以上		影響なし

注) 単位: dB μ V/m

2) 予測結果の信頼性

予測結果の信頼性に係る条件の設定内容及び予測結果との関係を表 4-17-4 に示す。予測にあたっては、PCS の種類、設置位置、設置台数については事業計画に準じており、環境影響が最大となる条件を採用している。このため、予測結果は環境影響の程度を評価するにあたって十分な信頼性を有していると考ええる。

表 4-17-4 予測の信頼性に係る条件設定内容と予測結果との関係

項目	設定内容	予測結果との関係
電波障害予測	予測は類似施設 PCS の現地調査による電界強度、距離減衰などを用いている。	電界強度、距離減衰など現地調査結果を考慮した予測手法の適用は適切であると考ええる。
PCS の種類及び配置	PCS の種類及び配置は、事業計画に基づき条件設定している。	PCS が定常的に稼働する場合の種類及び配置を予測条件として用いている。このため、予測結果については定常的な稼働の影響となる場合の条件を考慮していると考ええる。
類似施設における電界強度、距離減衰	類似施設から 3m、10m、50m の地点における現地測定結果及びその結果から算出した距離減衰を採用している。	類似施設の PCS と同じ機器設置予定。また、施設の設置状況も同様な設計とするため、予測条件としては適切と考ええる。

3) 環境保全措置の内容と経緯

施設の供用に伴う電波障害の影響を緩和するためには、対策として極力保全対象から離れるように PCS の配置などが考えられる。

予測結果から、対象事業実施区域周辺への影響は非常に小さいと考えるが、事業計画はできる限り環境への影響を緩和させることとし、表 4-17-5 に示す環境保全措置を講じる計画である。

表 4-17-5 環境保全措置（PCS の稼働に伴う電波障害）

環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類 ^{注)}
PCS の配置	保全対象から電波障害の発生源となる PCS を極力離すように努める。	低減

注) 【環境保全措置の種類】

低減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

4) 評価方法

調査及び予測の結果並びに検討した環境保全措置の内容を踏まえ、以下の観点から評価を行った。

(1) 環境への影響の緩和の観点

電波障害に係る影響が、実行可能な範囲でできる限り緩和され、環境保全についての配慮が適正になされているかどうかを検討した。

(2) 環境保全のための目標等との整合の観点

電波障害の予測結果について、環境保全のための目標となる基準等は、PCS からの電界強度が放送局からの電界強度を超えないこととした。

5) 評価結果

(1) 環境への影響の緩和に係る評価

供用時における PCS の稼働に伴う電波障害の予測結果を表 4-17-3 に示す。

対象事業実施区域周辺の諏訪市四賀地域においては、PCS から電波障害を受けることはない結果であり、本事業によりラジオの受信状況が現状から大きく悪化することはないと考える。

さらに、事業の実施にあたっては、「3) 環境保全措置の内容と経緯」に示したように、事業者としてできる限り環境への影響を緩和するため、「PCS の配置」といった環境保全措置を講じる計画である。

以上のことから、供用時における PCS の稼働に伴う電波障害の影響については、環境への影響の緩和に適合するものと評価する。

(2) 環境保全のための目標等との整合に係る評価

供用時における PCS の稼働に伴う電波障害による影響は、PCS の電界強度が放送局の電界強度を超えることはない結果である。

以上のことから、環境保全のための目標との整合は図られているものと評価する。